

- 1 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武将は誰？
- 2 794年に桓武天皇が建設し、その後長きにわたって日本の中心となった新しい都を何という？
- 3 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 4 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？
- 5 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？
- 6 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 7 平安時代初期まで、日本が中国（唐）へ文化や制度を学ぶために派遣した使節を何という？
- 8 平安京が碁盤の目状に整備される際に、手本とされた中国の都はどこ？
- 9 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
- 10 遣唐使の停止以降、中国文化を日本の風土に合わせて日本独自に発展させた文化を何という？
- 11 平安時代後期、阿弥陀如来や極楽浄土の世界を絵画・彫刻・建築で表現した美術を何という？
- 12 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？
- 13 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？
- 14 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 15 空海が高野山に建立した、真言宗の総本山として知られる寺院は何？
- 16 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？
- 17 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
- 18 天皇が幼少の時に代わって政治を行い、天皇を補佐する役割を持つ官職を何という？
- 19 939年、関東地方を拠点として朝廷に反旗をひるがえした武士は誰？
- 20 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？
- 21 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？
- 22 平安時代中期、天皇が幼いときに補佐する役職を何という？
- 23 平安時代初期に唐から天台宗を伝え、比叡山に延暦寺を開いた人物は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>坂上田村麻呂</u> は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。		<u>坂上田村麻呂</u>	☐
2	<u>平安京</u> は、現在の京都盆地に造営されました。		<u>平安京</u>	☐
3	<u>藤原道長</u> は、娘たちを次々と天皇や皇太子の後とすることで、揺るぎない地位を築きました。		<u>藤原道長</u>	☐
4	<u>奥州藤原氏</u> は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。		<u>奥州藤原氏</u>	☐
5	<u>武士</u> は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。		<u>武士</u>	☐
6	<u>藤原道長</u> はその摂関政治の頂点に立った人物です。		<u>藤原道長</u>	☐
7	<u>遣唐使</u> は、天皇の命を受けて唐へ派遣された公式の外交使節団です。		<u>遣唐使</u>	☐
8	平安京は、唐の首都である <u>長安</u> の都市計画をモデルにして建設されました。		<u>長安</u>	☐
9	漢字の草書体を簡略化した「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」が普及しました。		<u>かな文字</u>	☐
10	<u>国風文化</u> は、仮名の発明による物語文学（源氏物語など）の発展や、寝殿造のような日本独自の建築様式が特徴です。		<u>国風文化</u>	☐
11	<u>浄土教美術</u> は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。		<u>浄土教美術</u>	☐
12	<u>浄土信仰</u> は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行けることができるという教えです。		<u>浄土信仰</u>	☐
13	『 <u>古今和歌集</u> 』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。		<u>古今和歌集</u>	☐
14	<u>東北地方</u> には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしていました。		<u>東北地方</u>	☐
15	<u>金剛峯寺</u> は、高野山にある真言宗の拠点となる寺院です。		<u>金剛峯寺</u>	☐
16	清盛は日宋貿易を積極的に進め、経済的な力を高めました。		<u>平清盛</u>	☐
17	<u>空海</u> は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。		<u>空海</u>	☐
18	<u>摂政</u> は天皇が幼い間に代わって政務を行い、天皇が成人した後も補佐する役割として「関白」が置かれました。		<u>摂政</u>	☐
19	<u>平将門</u> は、関東の有力者として朝廷の支配に対して反乱を起こしました。		<u>平将門</u>	☐
20	<u>藤原頼通</u> は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。		<u>藤原頼通</u>	☐
21	<u>院庁</u> は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。		<u>院庁</u>	☐
22	<u>摂政</u> は天皇が幼少の際に代理として政治を行う役職であり、成人後は関白として補佐しました。		<u>摂政</u>	☐
23	<u>最澄</u> は唐へ渡り、天台宗を学んで帰国しました。		<u>最澄</u>	☐

言えなかった用語ノート